

青年部乳製品消費拡大運動を実施!!



根釧牛乳は「コクがあっておいしい!」の声



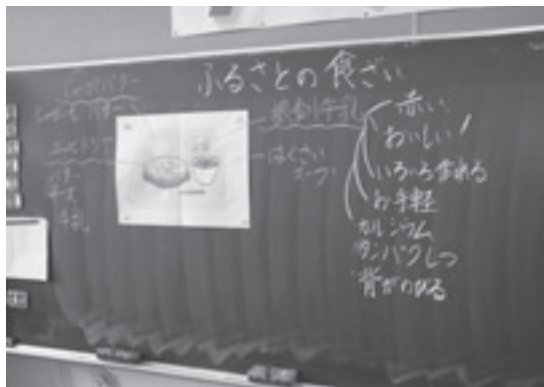
鶴居産チーズも好評でした。

参加した青年部員10名からは、「鶴居で生産された牛乳とチーズです。いかがですか?」と1人1人に声をかけ、ピーアールをしました。お客様の反応は「いつも飲んでる牛乳よりも、コクがあっておいしい」「また食べてみたくなるチーズです」と評価は上々でした。

カメラ アングル

11月24日、釧路市のジャスコにおいて、当JA青年部は、牛乳及びチーズの消費拡大運動を実施しました。
地元産「よつ葉・根釧牛乳」及び鶴居産チーズ「鶴居ゴールドラベル」(第6回オールジャパン・ナチュラルチーズコンテスト最優秀農水大臣賞受賞)の試食を、ジャスコに買い物に来たお客様に勧めました。

「ふるさと給食」で牛乳・乳製品の食育教育を実施!!



ふるさとの食材を生かした学校給食

そして、給食時には、村内全小中学校5校の生徒に根釧牛乳を飲んでもらい、バターを使ったじゃがバター、牛乳やチーズをふんだんに使ったエビドリアなどが出され、乳製品を使った料理は子供達にも大変好評でした。



根釧牛乳、じゃがバター、エビドリアとどれもおいしい!



酪農について学ぶ小学生たち

JA共済連より救急車が寄贈される!!



救急車のキーが白糠町棚野町長へ渡されました。



降雨・降雪時にも威力を発揮する四輪駆動車



作業性に優れた5ドア室内構造

JA共済では、「ひと・いえ・くるま」の総合保障を提供するこ
とで地域に安心をお届けしており
ますが、この度、JA共済連北海
道より「交通事故対策」の一環と
して高規格救急自動車（白糠町
（釧路市消防本部西消防署 白糠
支署）へ寄贈され、寄贈救急自動
車受納式が11月4日、当JA本所
前において行なわれました。

寄贈救急車は、四輪駆動車で、
フルモデルチェンジにより大型化
された5ドア、そして作業性に優
れた室内構造となっており、一刻
を争う救急業務に大きく貢献出来
るものと期待されます。

今回は白糠町への寄贈でありま
したが、組合員はもとより、地域
住民の皆様の尊い生命を守るため
救急搬送や万一の事故に備え、よ
り安心で豊かな地域社会づくりへ
の貢献活動を、JAグループ及び
地域自治体が一丸となり、今後も
積極的に取り組んでまいります。

平成21年度 JAくしろ丹頂職員研修会開催

また、研修会終了後には、出席
者全員による懇親会が行なわれ、
日頃なかなか会うことのない4地
区の職員が懇親を深め、2班に分
かれて行なわれた研修会は、無事
に終了致しました。

また、研修会終了後には、出席
者全員による懇親会が行なわれ、
日頃なかなか会うことのない4地
区の職員が懇親を深め、2班に分
かれて行なわれた研修会は、無事
に終了致しました。

また、研修会終了後には、出席
者全員による懇親会が行なわれ、
日頃なかなか会うことのない4地
区の職員が懇親を深め、2班に分
かれて行なわれた研修会は、無事
に終了致しました。

また、研修会終了後には、出席
者全員による懇親会が行なわれ、
日頃なかなか会うことのない4地
区の職員が懇親を深め、2班に分
かれて行なわれた研修会は、無事
に終了致しました。

また、研修会終了後には、出席
者全員による懇親会が行なわれ、
日頃なかなか会うことのない4地
区の職員が懇親を深め、2班に分
かれて行なわれた研修会は、無事
に終了致しました。

また、研修会終了後には、出席
者全員による懇親会が行なわれ、
日頃なかなか会うことのない4地
区の職員が懇親を深め、2班に分
かれて行なわれた研修会は、無事
に終了致しました。



2班研修会「運動による健康づくり」



1班研修会「メタボ対策」



農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会
会長 飛田 稔 章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され62年目を迎えました。

制定当時は戦争の傷跡が生々しく、日本全土が荒廃する中で、国民の食料は不足し、食料確保の必要性と併せて農民の自主的立場を確立するために農村の民主化が最重要課題でありました。

このような時代背景の中から農協法が施行され、全国各地で農協が設立され、現在に至っております。

農協は農地改革によって生まれた自作農を基本とした「農民の農民による農民のための」組織として、人々が連帯し助け合うことを意味する「相互扶助」の精神のもとに組合員の農業経営と生活を守り、より良い地域社会を築くことを目的とした協同組織です。

農協法が制定されて以来、経済情勢や社会環境の変化に合わせてJAの事業展開や組織運営手法の変革が求められ、時代に即した法改正によって、組合員の社会・経済的地位の向上に大きな役割を果たして参りました。

今、私たちは21世紀の初頭を歩んでいますが、世界に目を向けますと金融危機、食料需給のひっ迫、地球温暖化・環境問題等が深刻化し、いまだに解決の糸口を見いだせない状況にあります。

国内的には市場原理の名のもとに行き過ぎた競争社会のひずみが格差社会を生み、年金問題などと相まって、国民の中に不安が増大しています。このような時代に自主・自立・相互扶助精神に基づき共生の社会をめざす協同組合組織に対する期待はますます大きくなっています。

私たちは「第25回JA北海道大会」において、「共に創る 北海道農業と新時代」をテーマに、組合員とともに多くの国民の信頼と支持を得て新たな時代に積極果敢に挑戦するJAを目指すことを決議し、実践しております。また、本年は「第26回JA北海道大会」を開き、「協同の力で築くあすの“食”をささえる北海道農業」をテーマに、組合員に基軸を置き、北海道農業・JAが抱える様々な課題の打開と地域と消費者に対して果たすべき役割を踏まえ、新たな基本方針を策定することとしています。

今後ともWTO農業交渉、景気低迷等厳しい情勢が予測されますが、組合員、役職員皆様が農協法の目的と意義を再確認して、JAが地域農業・農村振興の司令塔としての役割を発揮し、充実した組織として益々発展するよう共に頑張りましょう。

TMRを今一度見直そう

釧路中西部管内では農場の規模拡大やTMRセンターの稼働などに伴い、TMR (Total mixed ration ≡ 完全混合飼料) を給与する農場が増えてきています。

しかし、TMRといえども、正しく調製しなければ、思ったような効果は得られなくなります。

そこで今一度、牛が喜ぶTMR調製について考えてみましょう。

◆TMR調製上の留意点

飼養管理の上で、TMRは高度な栄養管理を行えたり、省力的に給餌作業ができるというメリットがあります。

一方、過剰に攪拌し繊維が壊れてしまったり、不十分な混ぜ方では、選り食いされてしまうというデメリットもあります。

では、これらに留意したTMR調製方法を確認してみましょう。

◆選り食いを防ぐ

牛がTMRを前に放り出したり、鼻を左右に激しく振りながら、エサを食べている姿を見たことはありませんか(写真一)。それは、牛が濃厚飼料を選り食いしている

証拠です。

選り食いをすると、ルーメンアシドーシスになる可能性もあります。ですから、選り食いされにくくTMRの調製が重要です。



写真1 底にある濃厚飼料を選り食いしている

①原料草の切断長を確認します

牛は鼻の幅以上の繊維の長さがあれば、選り食いできるといわれています。

サイレージの切断長が長すぎないか、特に切断したロールや乾草を加える場合は、投入量や切断長を確認します。確認にはパーティクルセパレーターが使えます(写真二)。必要な方は、普及センター

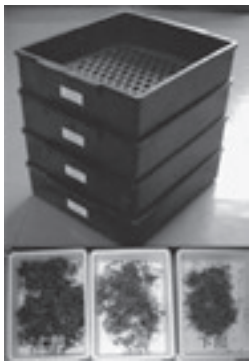


写真2 パーティクルセパレーター

1にありますのでご連絡下さい。

②必要十分な攪拌

攪拌時間や投入順序が適切でなければ、うまく混ざりません。TMRが均一に混ざっていないと、牛は選り食いをします。しかし、十分に混ざるようにと時間を掛けるほど繊維が壊れてきます。繊維を壊さない混ぜ方が大切です。

◆繊維を壊さない混ぜ方

混ぜすぎて繊維が壊れると、先端がぼそぼそになったり、細かな繊維が目立つようになります(写真三)。

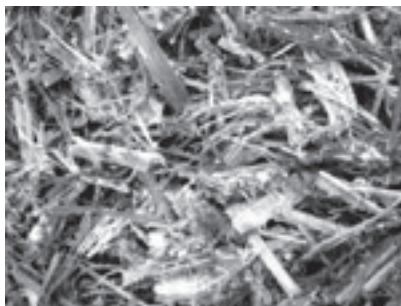


写真3 過剰に攪拌されたTMR

適切な攪拌では、繊維の形がしっかりと残っています(写真四)。攪拌時間は、必ず混ぜり具合を確認し、メーカーの推奨時間(二〜十五分程度)を遵守して下さい。

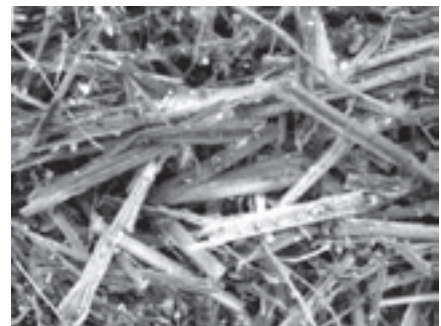


写真4 適切に攪拌されたTMR

△投入順番▽

繊維を壊さず、うまく混ぜるためにも投入順番が重要です。

投入順番の原則は、
○小さな飼料(粕・粒状)から、
大きな飼料(サイレージ・乾草)へ。

○乾いた飼料から、湿った飼料へとなります。

また、TMRミキサーの種類やメーカー、飼料の種類により様々ですので、必ず取扱説明書を確認し、調整後のTMRを手に取り確認することが重要です。

以上の点に留意し、牛に喜ばれるTMR調製を実践しましょう。

農場のコンクリート
基礎知識

農場では、施設の新築や増改築、構内整備などでコンクリートを施工する機会があります。通常は業者に依頼するとしても、自力で施工することもあるでしょう。高いコストをかけて作る施設です。コンクリートの基礎を覚えて失敗のない施工をしましょう。

◆コンクリートの構造

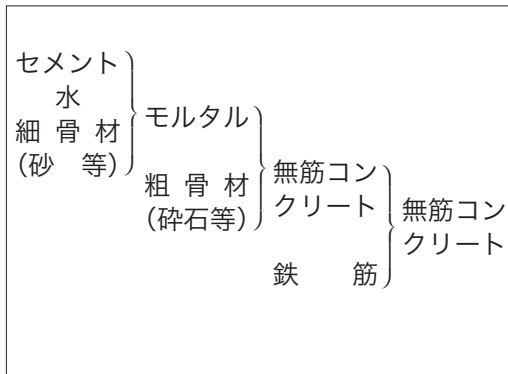


表1 コンクリートの構造

セメントや骨材（砕石など）などを混ぜたものをコンクリート、それに鉄筋が入ると鉄筋コンクリートと呼びます。（表1）

コンクリートは、注文する規格やその後の養生で、強度や耐久性に大きな違いが出てまいります。

◆コンクリートの規格

固まる前のコンクリートを生コンクリートといいます。一般的に生コンクリートは、『強度』『スランプ』『骨材の最大寸法』の三点で品質を指定します。（表2）

21-18-30

① ② ③

①呼び強度 (N/mm²)
②スランプ (cm)
③粗骨材の最大寸法 (mm)

表2 規格の表記法

①呼び強度

コンクリートが圧縮に耐えられる強度です。一般的な小規模木造住宅の基礎は二十一N（ニュートン）程度、牛舎施設は二十四N程度です。構内舗装やパドックも、鉄筋入りで二十四N程度必要です。

②スランプ

生コンクリートの軟らかさの指標です。数字が大きくなるほど

ど軟らかくなります。（表3）

	スランプ
手打ち	15~18
機械打ち (バイブレータ)	5~10

表3 スランプの目安

打設の作業性を良くするため、直前で水を混ぜることがあります。この方法はセメントが薄くなってしまい、強度が低下するので水と一緒にセメントを入れる必要があります。

③骨材の最大寸法

鉄筋の間の八十%以下で、かぶりの厚さより小さくする必要があります。（図1）

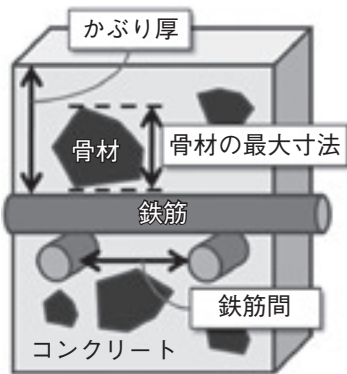


図1 骨材の最大寸法

養生

コンクリートは打設から数時間硬化します（二時硬化）。その後、一ヶ月かけて化学反応が進み、ゆっくりと強度が増してゆきます（二次硬化）。コンクリートの硬化は、水との化学反応なのでこの間は『乾かさなさい』『凍らせなさい』ことが大切です。

もし暑熱期にかかった場合は、シートをかけたり、打設翌日から水をかけるなどして水分が不足しないようにします。

平均気温が二度を下回る時期は、できるだけ打設を控えましょう。どうしても施工する場合は凍結防止策が必要となり、費用がかかってしまいます。

余裕を持って計画を立て、打設から一ヶ月間は凍結や暑熱の時期に重ならないように調節しましょう。

最後に

コンクリートの強度は『規格』と『養生』で決まります。せっかく施設費をかけるのですから、必要強度ができるようにしっかりと管理することが大切です。

JAくしろ丹頂 年末年始休業予定表

年 月 日	各地区の事務所			販 売			家畜改良	生 乳	哺育育成センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白 糠	音 別	鶴居・幌呂 白糠・音別			
平成21年12月22日(火)								通常業務		
12月23日(水)	天 皇 誕 生 日									
12月24日(木)				定期市場						
12月25日(金)										
12月26日(土)										
12月27日(日)										
12月28日(月)										
12月29日(火)	業務納め		業務納め	初生集荷	初生集荷	初生集荷				
12月30日(水)		業務納め					業務納め			
12月31日(木)							業務納め			
平成22年1月1日(金)										
1月2日(土)										
1月3日(日)										
1月4日(月)		業務始め								
1月5日(火)				業務始め 初生集荷						
1月6日(水)	業務始め		業務始め		業務始め 初生集荷	業務始め				
1月7日(木)				定期市場（初セリ）						
1月8日(金)						初生集荷				

年 月 日	購 買 ・ 鶴 居			購 買 ・ 幌 呂			購 買 ・ 白 糠		購 買 ・ 音 別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成21年12月22日(火)											
12月23日(水)	天 皇 誕 生 日			天 皇 誕 生 日				天皇誕生日			天皇誕生日
12月24日(木)	売り出し			売り出し							
12月25日(金)	(抽選開始)			(抽選開始)							
12月26日(土)	↓			↓							
12月27日(日)	年末大売出し			年末大売出し							
12月28日(月)	↓			↓							
12月29日(火)	↓		業務納め	↓		業務納め		業務納め			業務納め
12月30日(水)	↓			↓							
12月31日(木)	業務納め*	業務納め*		業務納め	業務納め		業務納め*		業務納め*	業務納め*	
平成22年1月1日(金)											
1月2日(土)											
1月3日(日)		業務始め			業務始め*						
1月4日(月)	業務始め						業務始め 午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1月5日(火)									午後6時まで		
1月6日(水)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め
1月7日(木)											
1月8日(金)											

*午前中のみ営業

営 業 日 休 業 日

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル（☎0120-25-8931）に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

◆鶴居地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、中村（☎64-2954）に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸（☎57-8388）に連絡して下さい。

◆幌呂地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、菊地（☎65-2207）に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、菊地（☎65-2207）に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、北釧運輸（☎23-7680）に連絡して下さい。

◆白糠地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、石渡（自宅☎2-3515 携帯090-3396-0623）に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、給油所（☎2-2084）に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸運運輸（☎0154-57-2777）に連絡して下さい。

◆音別地区の皆様へ

- ・Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
- ・生産資材に関することは、春日（☎6-2020）に連絡して下さい。

緊急以外はご容赦下さい。